

今後の医療に備えた細胞融解の標準化

📅 October 27, 2015

👤 Nancy Andon



組織培養皿内の人工多能性幹細胞。細胞の生存率や組織の機能保護のためには、細胞の処理や凍結保存技術の標準化が必要です。
(写真提供: Wikimedia)

様々な面で、細胞療法や再生医療の将来は標準化に左右されます。

大胆な記述に思うかもしれませんが、現代医療がどこへ向かっているのかを考えれば、そこには多くの意味があります。医療は変化しているところであり、すでにインターネットやモバイル技術が、人々の健康を監視するのに使用されていたり、患者と医師間のコミュニケーションツールとして使用されていることから、その変化を確認することができるでしょう。同様に治療方法も変化しています。研究機関はこれまで以上に合成医薬品や手術法よりも、異常細胞や異常組織をターゲットとする細胞療法や再生医療

に焦点を置いた臨床試験へと、その資金をシフトさせています。

それでは、純度や効果に求められる規制を満たすためには、どのように細胞療法の開発を行えば良いのでしょうか？

昨年、我々は Medcison の共同出資者で、製品開発部門長である Brian Schryver 氏に、融解と [ThawSTAR システム](#) の開発に重点を置いた、一連のインタビューを行いました。

このインタビューでは、融解の自動化で凍結保存が、より均一で効果的に実行できるかに焦点を置いていました。今日、その対談はこれまで以上に適格なものになっています。急速に発展する生物学を基盤とする産業は、生態系に見られる自然の多様性に対し標準化を必要とします。

Dr.Schryver は、「将来的には治療の多くが生細胞を基盤としたものになるでしょう。凍結保存プロセスの『単純な』ステップを実行するための、安定かつ安全で信頼のある標準化された方法が産業の成功に絶対に必要です。」と述べています。

細胞療法や再生医療の開発プロセスにおける最良の方法は、細胞の性質に依存するでしょう。言い換えれば、医療の将来である細胞製品の開発時に実施される、様々な技術や方法、アッセイに依存するということです。

標準化を行うときが来ています。

元記事：<http://www.medcison.com/standardizing-cell-thawing-future-medicine/>